

フィンドレー大学

ベーシック・アニマルハンドリングプログラム報告書

獣医保健看護学類1年 下村美沙紀

はじめに

今回、私は春休みの期間を利用して、3週間のアメリカ留学に参加しました。高校時代から大学生のうちに留学をしたいと考えていて、酪農学園大学の留学プログラムの中で一番気になっていたこのプログラムに参加することを決めました。最初は、まだ1年生なのに留学をしてもいいのか、英語ができなくても大丈夫なのかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、この留学は一人ではなく複数名での参加だったことや、私の友人も応募するということだったので、勇気をだして応募をしました。私と同じような境遇で、このプログラムに参加したいと考えている方にむけて、体験談を書くので参考になれば幸いです。

生活

今回の留学では6人全員が女子だったため、1つの宿舎に6人で過ごしました。部屋が3つあり、1つの部屋に机、押入れ、2段ベッドがあり、2人ずつに分かれて部屋を使用しました。キッチンには冷蔵庫や電子レンジ、炊飯器、電気ケトルなど、生活に必要な家電はほとんどそろっていました。他には洗濯機や乾燥機なども設備してあるため、使用する際は全員分の服を一気に回していました。一番生活で困ったのがお風呂です。6人で1つのお風呂を順に使用するため、遅く帰ってきた日は夜に入る人と次の日の朝に入る人と分けていました。また、順番に困るだけでなくお湯問題もありました。この宿舎は、ある程度溜められたお湯タンクからお湯が流れてくるシステムだったため、温かいシャワーを浴びるのには最悪2人続けて入るのが限界でした。その後タンクにお湯が溜まるまでに30分ほど時間がかかるため、最後にお風呂に入る人は大変でした。

食事は、朝は宿舎で食べ、昼と夜はフィンドレー大学内にある学食を食べました。学食はビュッフェスタイルで、フライドポテトやピザ、ハンバーガーはもちろん、野菜コーナー、オーダーメイドコーナーもあり種類豊富でした。



Western Farm

午前中は Western Equestrian の生徒たちと一緒に馬のお世話をします。朝は基本 5 時起きで 6 時半に出発するバスにのって、馬が飼育されている Western Farm に向かいます。ここでは最初に Grain という餌を与える人、Hay という草を与える人、調合した薬を与える人の 3 グループに分かれて作業を行います。生徒たちはその作業が終わると乗馬の準備をするため、まず馬舎の清掃をして、馬のブラッシング、足の包帯を巻き始めます。拙い英語でコミュニケーションをとりながら、私も乗馬の準備を手伝いました。生徒たちが乗馬をしている間、Equestrian の先生である Linda から指示をうけて、バスが迎えに来る 10 時まで作業をします。馬のお世話だけでなく、歯の施術や削蹄にも立ち会える機会もあります。これが午前の流れになります。

私は馬に触れることが初めてだったのですが、バディの生徒たちが親切に扱い方を教えてくれます。また乗馬もさせてもらえました。



Animal Science

午後からは Pre-Vet の生徒たちに教わりながら、授業にも参加します。1 2 時のバスに乗り、再び Western Farm に戻り、まずは馬の注射や採血の方法を教わります。その後は Animal Science Building へ行き、家畜動物（ブタ、ヒツジ、ヤギ、ウシ）の去勢、除角、削蹄を行います。これが午後の流れになります。

動物への医療行為をここで初めて行いましたが、Pre-Vet の生徒に確認をとってもらいながら慎重に行い、この3週間で何度も同じことを繰り返し練習したため、恐怖心もなくなり、スムーズにできるようになりました。



Friday Night

金曜日には夕方から夜中にかけて、Pre-Vet の生徒たちと一緒に去勢手術や採血を行う Friday Night があります。猫の去勢手術では、最初に手術に備え縫合キットで練習をして、その後ピザを食べてから、手術にとりかかります。生徒と二人体制で行い、私たちは主に手術の補助や縫合を行いました。採血では Western Farm の馬 200 頭を採血しました。新しいことを学んだり、素晴らしい経験をさせていただけるとても貴重な機会です。是非、動物医療に興味のある方はこの Friday Night に参加してほしいと思いました。



交流

この留学プログラムでは動物に関するだけでなく、フィンドレー大学に通う学生たちとの交流もできます。酪農学園大学への留学経験がある学生、今年留学を予定している学生と、美術館や動物園に行きました。それだけでなく、映画やジム、パーティーに誘ってもらったり、私たちもお好み焼きを作り、日本食をふるまいました。また2日間ホームステイをする機会もあり、お互いの話や、観光をしながら仲を深めることができました。



おわりに

今回の留学を通して様々な貴重な経験や、たくさんの人のやさしさに触れました。私がこのプログラムで1番思い出に残ったのが、Friday Night です。動物看護師を目指している私にとってとても興味がある内容で、学校でできないようなことを経験させていただきました。それ以外にも様々な動物に関わる団体の方から話を聞いたり、海外の発展した活動

を実際に知ることができました。また現地の人たちは英語が上手くなく、知識が乏しい私に対して嫌がることなく丁寧に教えてくれたり、親しく接してくれ、本当に留学にきてよかったなと感じるような瞬間ばかりありました。たくさんの刺激をもらい、将来の仕事への考え方や、これからの大学生活でもっと積極的に学んでいこうという目標も立てることができたので、この留学経験をばねに、残りの大学生活をもっと充実させたいと思います。